

★ハノイの塔の伝説

今から5000年まえ、インドのベナレスという町に大寺院があり、そこには世界の中心といわれるドームがありました。その中には台が作られていて、その上にはダイヤモンドでできた棒が3本立っていました。インドの神ブラーマは、世界が始まるときに、この棒に黄金でできた円盤を64枚さしておきました。この円盤は下が大きく、上に行くほど小さくできていて、ピラミッド状に積み上げられていました。そして、ブラーマは僧侶たちに次のような修行を与えました。

1. 積み上げられた円盤を、すべて他の棒に移すこと。
2. その際に、1回に1枚しか動かしてはならない。また、小さな円盤の上にそれより大きな円盤を乗せてはならない。
3. すべてこの3本の棒を使って移すこと。棒以外のところに円盤を置いてはならない。



ブラーマは、この円盤がすっかり他の棒に移った瞬間に、世界は消滅してしまうと予言しています。5000年たった今でも、寺院ではこの修行が続けられているそうなのですが・・・

模型による実験

3枚の円盤で行うと、最低7回でできます。右の写真は6枚ですが、円盤4枚だと最低15回になります。円盤の枚数が1枚ずつふえると、回数がどのくらいずつふえていくのでしょうか。円盤が3枚や4枚くらいだと、要田小学校の子供でも1分もかからずにできてしまいます。



こども 「円盤が64枚だったら、数時間でできるんじゃない？」

校長 「だったら、もうとっくに 世界は消滅してるじゃないかあ～」

こども 「だからあ～、そんな伝説はウソウソ！」

校長 「1枚増えると何回枚数が増えていくかの規則はないのかな？・・・」

